

会 場 全員協議会室
時 間 午後2時00分～

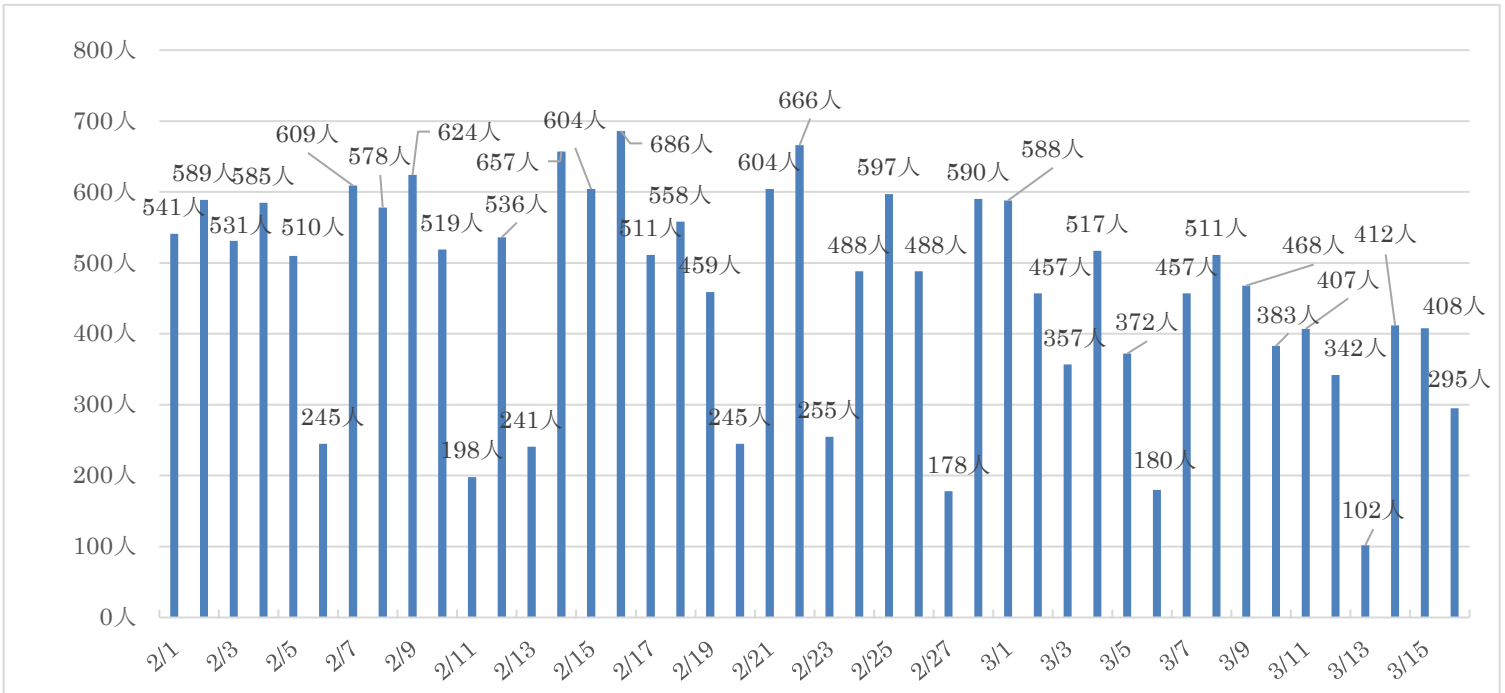
市長記者会見資料

- 1 新型コロナウイルス感染症に関する本市の状況
- 2 学童保育所の待機児童“0”を達成
～地域の協力と学校施設活用の拡充の成果～
- 3 八王子駅北口の「絹の舞」のライトアップをリニューアル！
～ウクライナカラーに変更～
- 4 令和元年東日本台風で流失した「睦橋」復旧！
- 5 中心市街地のプロモーションサイト「まちな」をリリース
～「八王子ジャーニー」と連携！公式まちなかメディアが誕生～
- 6 「乳幼児すくすくてくてくガイドライン」を作成
～乳幼児期の教育・保育の質に関する本市独自の指針～

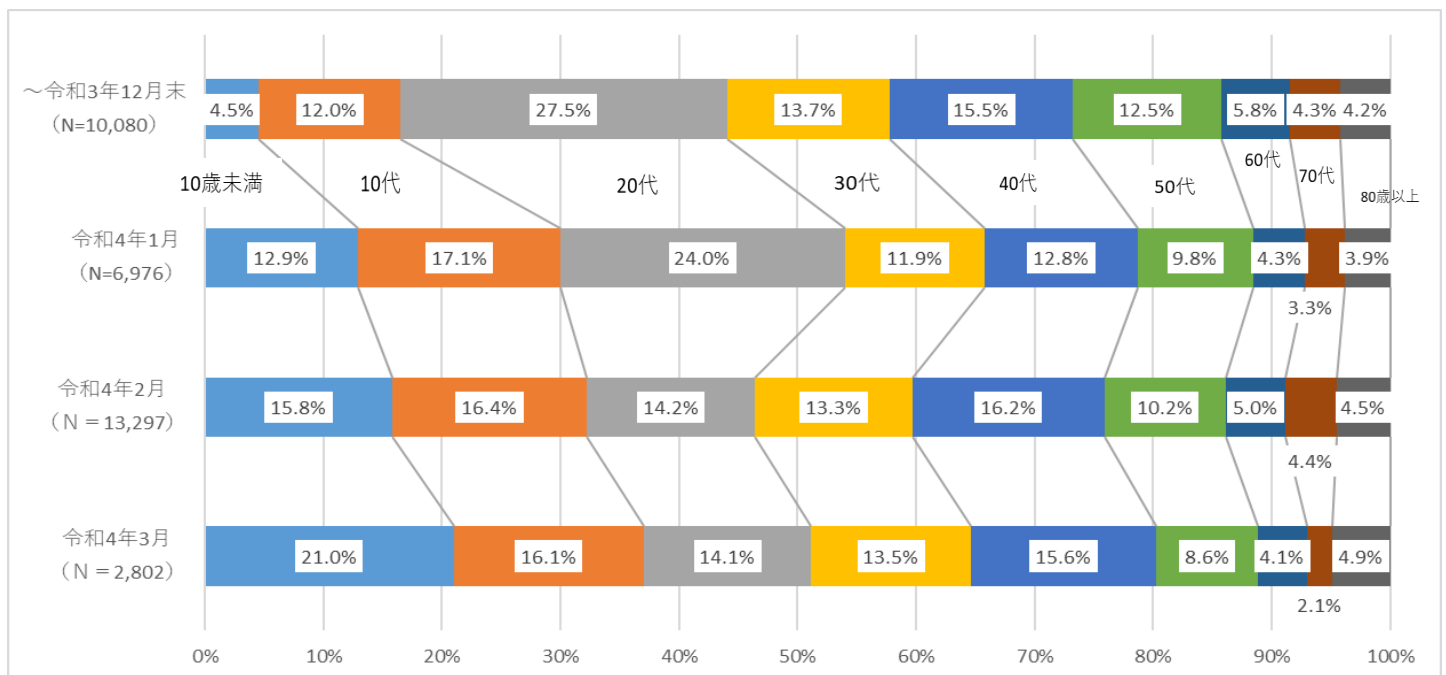
新型コロナウイルス感染症に関する 本市の状況

1 感染者の状況

(1) 新規感染者の推移【2月1日～3月16日】（3月16日現在）



(2) 新規感染者年代別割合推移



2 地域医療体制支援拠点の活動状況（3月18日現在）

（1）入院・受診調整の状況

（単位 件）

区分	入院調整件数	受診調整件数	計	1日平均
1月	72	35	107	10.7
2月	118	91	209	7.5
3月	76	24	100	5.9

※1月21日から3月17日までの実績

（2）クラスター施設支援の状況

- 高齢者等施設クラスター支援数 31回（25施設）
- 高齢者施設入所者一時転所事業利用者数 9人（2施設）
- Webセミナー「第6波における高齢者施設のCOVID-19対応」共催（2月9日）



3 12～17歳の追加（3回目）接種開始

4月2日から12～17歳（小・中学生、高校生）を対象とした追加接種を開始します。対象者が12～17歳（小・中学生、高校生）であること及びファイザー社ワクチン以外の選択肢がない対象者への接種であることから、確実に接種枠を確保するため、接種しやすい土曜日を新たに接種日として追加するなど環境を整えています。

（1）対象者

2回目接種から6か月以上経過する12～17歳の方

（2）接種会場（ファイザー社製ワクチンのみ）

八王子スクエアビル、八王子オーパ、イーアス高尾、イトーヨーカドー南大沢、コピオ北野

（3）開始日

4月2日（土） ※国の法令改正の時期に応じて遅れる場合があります。

（4）接種券送付日

3月25日頃から順次送付

（5）予約方法

接種券が到着した日から、会場・日時を選択し、予約することが可能です。
（毎週土曜日に12～17歳のみ予約ができるよう、予約システムを改修中）

- ※ 「月～金、日曜日のファイザー社ワクチン会場の予約枠」に空きがある場合は、12～17歳の方も接種が可能となります。

《接種対象人数》（3月14日現在）

3回目接種月	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	計
2回目接種月	～R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	
12～17歳 (VRS 集計結果)	16,517人	3,404人	1,173人	417人	478人	886人	22,875人

4 小児接種（5～11歳）

3月1日から全年齢の障害児・難病・基礎疾患を有するお子さんを対象に、3月6日から11歳（上記優先接種の対象外のお子さん）を対象に接種を開始しました。3月15日から、8～10歳のお子さんの接種を前倒しして開始しており、順調に進んでいます。

さらに、3月22日からは、5～7歳のお子さんの予約を開始し、23日から接種を開始します。

《接種・予約状況》（3月17日現在）

接種・予約対象者	接種対象者数	1回目接種	1回目予約
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 全年齢の障害児・難病・基礎疾患を有するお子さん ➤ 8～11歳のお子さん 	17,817人	接種人数	予約人数
		916人	2,576人
		接種率	予約率
		5.1%	14.4%

※ワクチンの接種対象者は、接種当日に12歳未満の方

※小児接種対象者（5～11歳）数は30,783人(参考)

《接種会場》



撮影：3月13日医療センター



撮影：3月11日南大沢文化会館

<問い合わせ>

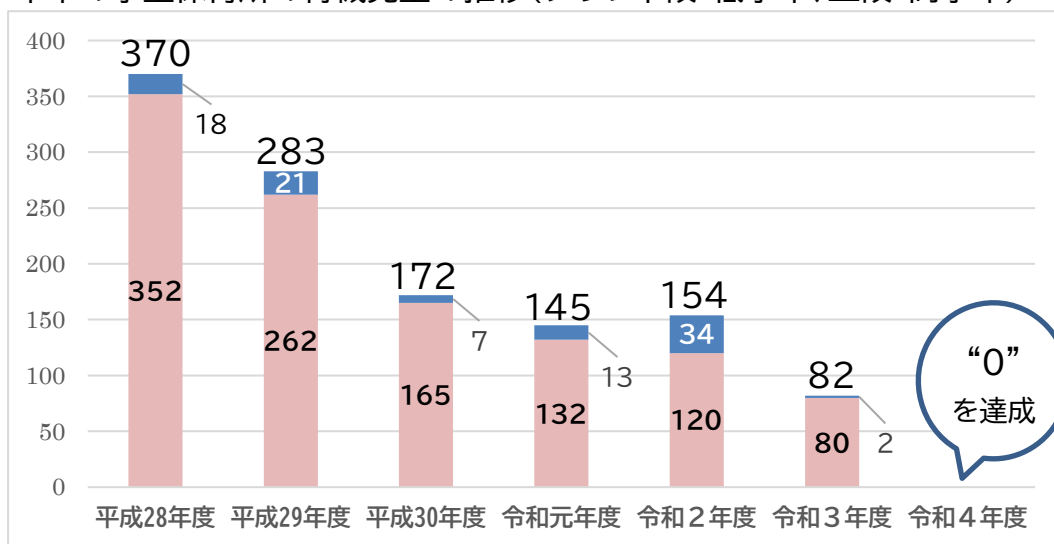
- 1 健康部保健対策課長 福島 電話042-645-5195
- 2 医療保険部地域医療体制整備担当課長 菅野 電話042-620-7473
- 3 健康部新型コロナウイルスワクチン接種体制確保担当課長 武井
電話042-645-5111
- 4 健康部新型コロナウイルスワクチン接種調整担当 課長 伊東
電話042-649-6089

学童保育所の待機児童“0”を達成 ～地域の協力と学校施設活用の拡充の成果～

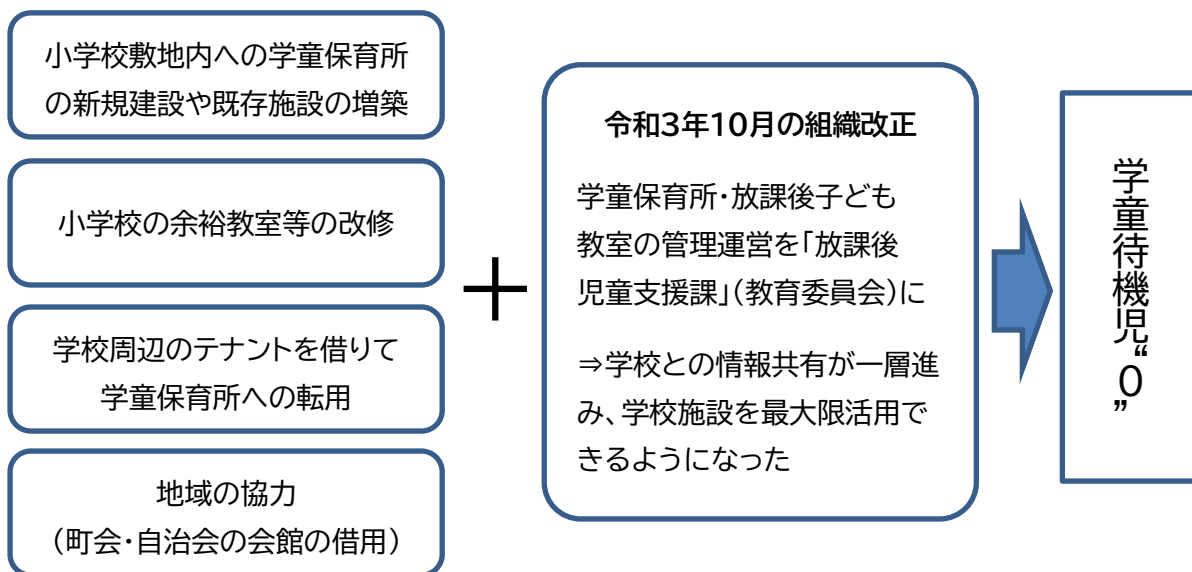
全国的に共働き家庭が増加しており、保育園や学童保育所の待機児童が問題となっています。中でも、学童保育所の待機児童の増加は、本市においても課題となっていました。

このたび、令和4年4月時点の本市の学童保育所の待機児童が0になる見通しとなるため、これまでの本市の取り組みと合わせて報告します。

1 本市の学童保育所の待機児童の推移(グラフ下段:低学年、上段:高学年)



2 本市のこれまでの取組



八王子駅北口の「絹の舞」のライトアップをリニューアル！ ～ウクライナカラーに変更～

市では、道路照明灯の省エネ化を進めており、その一環としてJR八王子駅北口マルベリーブリッジ上にある吸気塔「絹の舞」の照明灯をLED化します。このLED化に合わせて、従来の白色やオレンジ色だけではなく様々な色で点灯できるようになります。季節やイベントなどに合わせて変更することで、まちの賑わいの創出につなげてまいります。

リニューアル後の第一弾として、ロシア連邦によるウクライナ侵攻に抗議するとともに、一日も早い平和的解決を願い、ウクライナ国旗をイメージしたライトアップを予定します。

1 ライトアップ開始日 開始日が決定次第、改めてプレスリリースします

2 カラーバリエーション

■ウクライナカラー(当面の間) 青・黄



■ブランドメッセージのロゴマークカラー
緑・青・オレンジ・グレー



■ハロウィン(10月21～31日)オレンジ



■クリスマス(12月24・25日) 赤・緑



令和元年東日本台風で流失した「睦橋」復旧！

令和元年（2019年）10月の台風19号（令和元年東日本台風）で河川が増水し、流された「睦橋（むつみばし）」。

南浅川河川沿いの遊歩道を結ぶ歩道橋「睦橋」の復旧作業が完了し、新設橋として4月1日13時に開通します。

- 1 開通日時 4月1日（金）13時
- 2 位置 長房町及び千人町四丁目



《被災直後の様子》



《完成した睦橋》



中心市街地のプロモーションサイト「まちな」をリリース ～「八王子ジャーニー※」と連携！公式まちなかメディアが誕生～

コロナ禍で生活様式が大きく変化する中、まちなかに出てくるきっかけをつくるため、中心市街地のプロモーションサイト「まちな」を開設します。

イベントカレンダーやまちなめぐりなど、まちなかの楽しさを発信していきます。

1 開設日

3月22日(火)

2 サイト名・ロゴマーク

まちを積極的に楽しんでほしいとの思いから、まちを動詞化。

八王子の「八」が、音符のようにリズムカルに歩いているロゴマークが目印。



3 「まちな」の特長

- 西放射線ユーロードなどで開催するイベント情報を一元化して紹介。
- 情報サイト「八王子ジャーニー」と連携し、「まちな」を紹介。
- 名店・名所などの情報を発信。

例)歴史を感じるリノベーションスポット・みずぎ通り食べ歩きぶらり・昭和レトロな純喫茶

4 都まんじゅうとのコラボレーション

都まんじゅうにて、ロゴマークが型押しされたオリジナルまんじゅうを販売(～5月末)。



▲「まちな」のサイトイメージ



▲二次元コードからサイトへ

※「八王子ジャーニー」について

- ・ 130万PV/月の発信力・影響力
- ・ 運営会社の㈱アットサポートは、中心市街地にオフィスがあるほか、20人のライターにより、毎日新しいまちなか情報が更新されている。

「乳幼児すくすくてくてくガイドライン」を作成 ～乳幼児期の教育・保育の質に関する本市独自の指針～

市内には、幼稚園や保育園をはじめ、様々な幼児教育・保育施設が200施設以上あり、毎日16,000人の子どもたちが通っています。乳幼児期は、身体育成・人格形成・情操と道徳心を育む大切な時期です。この大切な時期の教育・保育の質を高め、施設の職員の教育・保育活動を支援するために、本市独自の「乳幼児すくすくてくてくガイドライン」を作成しました。

- 1 発行日 3月22日（火）
- 2 配付先 幼児教育・保育施設（約200施設）、全小学校
- 3 活用方法 保育者の研修に活用するほか、小学校の先生や保護者も、乳幼児期の教育・保育の重要性についての理解を深めるきっかけとなるよう周知する。

4 これまでの経緯

すべての子どもたちに等しく幸せがもたらされるような教育・保育の質を確保するために、令和3年（2021年）2月に多摩地域初となる「八王子市幼児教育・保育センター」を設置。

同センターの事業として、各園や関係団体からの意見を踏まえて、本ガイドラインを作成した。

<乳幼児すくすくてくてくガイドラインの概要>

(1) 基本理念

子どもはミライへ！！ぐんぐん・いきいき・わくわく 育むはちおうじ

(2) 掲載内容

- 3歳未満までの育ちの重要性
愛着形成・探索行動・自我意識の芽生え など
- 食育の推進
- 子どもの安全・安心
- エピソードで考える幼児教育・保育の質（エピソード紹介） など